

式 辞

厳しい寒さと深い雪の季節にもようやく終わりが見え、春の息吹が感じられるようになりました。

本日ここにPTA会長 島田福德様並びに保護者の皆様の御臨席を賜り、新潟県立津南中等教育学校の第十二回卒業式を挙行できますことは、私ども職員一同、並びに在校生にとりましてこの上ない喜びであります。御臨席を賜りました皆様に心から御礼申し上げます。

ただ今、卒業証書を授与された五十二名の卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。皆さんは、六年間を通して学習に励み、確かな学力を身につけてきました。後期課程の三年間は感染予防と学業の両立をみんなで頑張り、「夢の実現」に向けた新たなステージに立つために努力してきました。

国内英語研修や東北キャリア研修、探究学習等とおして視野を広げ、世界に向かって自己表現できる能力を磨きました。さらに、体育祭、文化祭など全校で取り組む学校行事をとおして、思いやりの心やたくましく生きる力の育成に励んできました。部活動でも活躍し、津南中等の伝統に新たなページを刻みました。本校で学び経験したことは、十年後、二十年後になっても、皆さんの心の中で生き続け、その時々的人生を力強く支えてくれるはずです。このことに自信を持ち、堂々と胸を張って活躍してください。

さて、本校の特色の一つとして、六年間を体系化した探究学習「津南妻有学」があげられます。「津南中等教育学校を支援する会」の協力

を得ながら、地域との連携を進め、実際に地域の活性化のために貢献する活動も行っています。十二期生の皆さんは、先輩たちから受け継いだ「津南妻有学」を発展させ、後輩に引き継いでくれました。

主体的に進路目標を見つけて「夢の実現」に向かっていく学校、コロナ禍でも探究学習などを前に進め、生き生きとした活動を発信している学校という評価が地域からも高まり、本校の志願者増加にもつながったと考えています。皆さんは、本校で磨いた探究する姿勢を、今後の人生にぜひ生かしていただください。

ここで、皆さんに私の好きな言葉を贈ります。それは、

「人生とは成功より失敗の方が多い。ならば、成功のために安全な道を選択するのではなく、失敗した時、絶対に後悔しない道を選ぶと思う。それは、好きなことをすること、自分が何をしたいかを決めること。」

という言葉です。

今、物事が急激に変化していく時代になっています。変革の時代には、やり甲斐のある大きな仕事ができるチャンスが生じます。皆さんには、自分の好きなこと、自分が何をやりたいかをはっきりさせ、後悔しない道を選択してほしいと思います。

人生では、「何になったか。どんな地位ついたか。」よりも、精一杯努力して「何をしたか。何を成し遂げたか。」に大きな価値があると思います。

挑戦するときは、成功より失敗が多いものです。決して途中であきらめることなく、「やればできる、必ずできる」と信じて、夢を実現してほしいと思います。

時代は主体的に考え行動できるリーダーを求めています。本校で学

んだことを活かして世界に羽ばたき、日本や世界の政治・経済・文化、あるいは科学技術に深く関わる人材、そして地域を支える人材になってください。

本校の校章にある四つの花は、家族や友達、教師や地域の人のやさしさと、津南の大自然のぬくもりを表しています。人々と大自然とが、この学校に入学してきた皆さんの夢の実現を応援し、温かく見守り続けてきました。皆さんが今日ここにあるのは一人一人の努力の賜ですが、決して自分の力だけで生きてきたわけではありません。御家族や地域の方々など多くの人々の思いに支えられ、今日に至っていることに感謝の気持ちを忘れないでください。

保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。皆様には、六年間の長きにわたって本校に対して、陰(かげ)に日向(ひなた)に、ご協力をいただきましたことに御礼申し上げます。皆様のお子さんは、これから困難なことに出会っても、津南中等教育学校で学んだことや頑張った経験を生かし、困難を克服し、夢を実現してくれると確信しています。皆様は、本当に素直で立派なお子さんを育てられたと思います。今後とも、保護者の同窓として、本校に対して、これまで同様のご協力とご支援をお願いいたします。

結びに、五十二名の卒業生の皆さん一人一人が心と体の健康を大切に、それぞれの世界に向けて力強く旅立つ、その洋々たる前途を祝して、式辞といたします。

令和五年三月十六日

新潟県立津南中等教育学校長 関口 和之